

社会福祉法人「宮市社会福祉協議会」事業計画

基本方針

近年の経済環境、雇用状況が依然として厳しい中、地域住民の生活状況が悪化しております。また地域社会においては、人々の生活様式が多様化や世帯の核家族化、住民同士のつながりの希薄化等は、益々進んでおり、家庭や地域での福祉機能の低下が叫ばれております。

こうした中、地域福祉の中核的な推進機関である社会福祉協議会の役割は益々大きくなっています。そのため、行政をはじめ関係機関、民間諸団体等と一層連携を強め、きめ細かい地域福祉活動の推進とネットワークづくりを目指し、市

民が健康で生きがいを持つる福祉社会の実現に向けて取り組んでいかなければなりません。この様な基本的考えの基に、地域住民の多様化するニーズに対応し、信頼されるサービスの提供を行ってまいります。

介護保険・障害福祉サービス事業につきましましては、民間事業所の増加による競争の激化等により益々厳しい状況下、本会は質の高いサービスの提供ができる体制と有資格者の配置要件を満たす事業所として「特定事業所加算」を認められており、今後より効率的、効果的な事業の実施により経営の安定を図りながら、一層きめ細かな居宅サービスの向上に努めてまいります。

また、今年度より、障害者等からの相談に応じ、福祉サービスの利用に必要な情報提供や、権利擁護のために必要な援助を行う「障害者相談支援センター」を新たに開設いたします。

さらに、認知症高齢者、知的・精神障害者等判断能力が十分でない方の金銭管理や書類等の預かりサービスをする日常生活自立支援事業の周知に努め、制度の積極的な活用促進を図ります。その他、ボランティア活動のさらなる推進を図るほか、市民の安心を支える地域福祉サービスセンターによる「相談支援」や「心配ごと相談」等地域福祉の増

進を目指した諸活動を積極的に推進します。併せて社会福祉の広報啓発や情報の提供、福祉教育にも引き続き取り組んでまいります。

重点目標

1. 支会事業・活動の充実と法人経営の安定化基盤の確立を図る。
2. 障害者相談支援センターを開設し、福祉サービスの情報提供等必要な援助を行う。
3. 福祉サービス利用援助事業の目的に沿い、利用者の増加等により体制を強化し、福祉サービスのさらなる向上と推進を図る。
4. 地域福祉の主要な担い

5. 介護保険事業及び障害福祉サービス事業について、特定事業所加算を受けた事業所としての整備を図り、質の高い介護サービスの提供に努める。
- 手として期待されるボランティアの養成講座を充実し、その育成と活動の推進を図る。

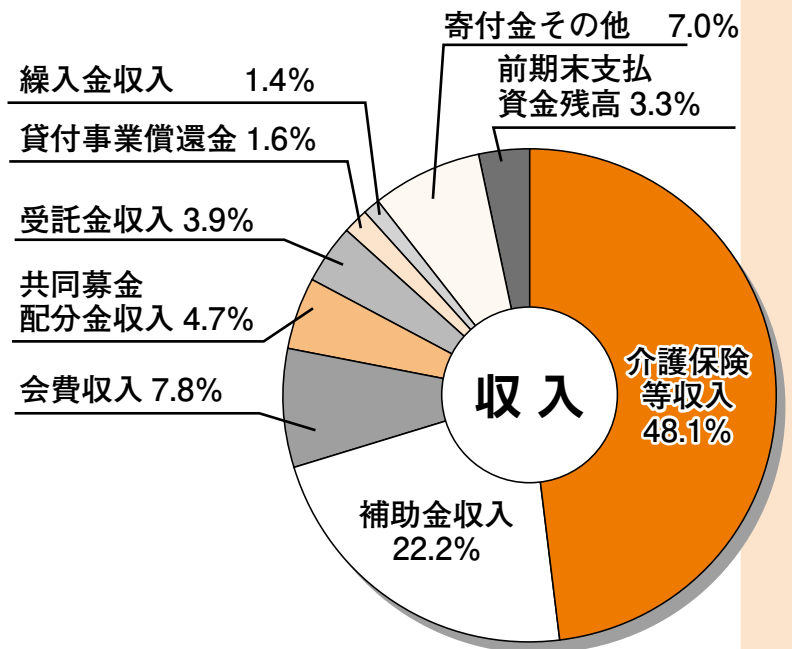


平成23年度 一般会計予算額 694,409,000円

収入

(単位：千円)

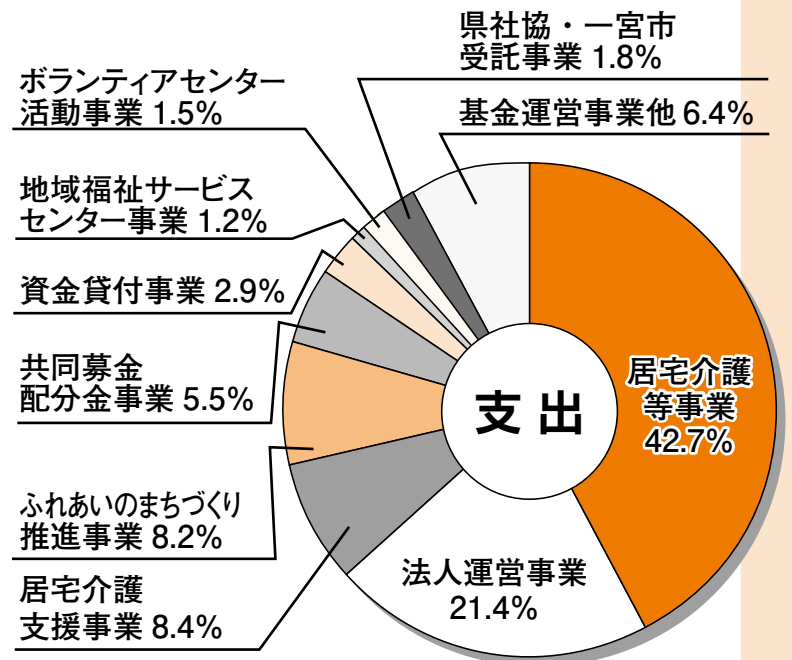
介護保険等収入	334,008
補助金収入	154,117
会費収入	54,437
共同募金配分金収入	32,900
受託金収入	26,757
貸付事業償還金	11,200
繰入金収入	9,359
寄付金その他	48,877
前期末支払資金残高	22,754
合計	694,409



支出

(単位：千円)

居宅介護等事業	296,210
法人運営事業	148,424
居宅介護支援事業	58,325
ふれあいのまちづくり推進事業	56,829
共同募金配分金事業	38,022
資金貸付事業	19,948
地域福祉サービスセンター事業	8,665
ボランティアセンター活動事業	10,870
県社協・一宮市受託事業	12,633
基金運営事業他	44,483
合計	694,409



平成23年度 特別会計予算額 32,845,000円